

2023年2月8日

報道各位

住友林業株式会社

S&P グローバル社の世界的サステナビリティ格付けにて 最高評価を5年連続獲得

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は世界的な社会的責任投資(SRI)分野の調査・格付け会社である米 S&P グローバル社のサステナビリティ格付けで、最高評価を5年連続で獲得しました。2023年は、100点満点中83点で住宅建設分野の最高得点の評価でした。

S&P グローバル社は世界の大手企業7,800社以上を対象に経済・環境・社会面での取り組みについて評価し、61業種それぞれ上位15%の企業を「持続可能性に優れた企業」として「サステナビリティイヤーブック2023」に掲載します。

なお、昨年までのゴールドクラス、シルバークラス、ブロンズクラスと色分けした呼称から、2023年は上位1%、上位5%、上位10%へと表現を改めています。

2008年に「サステナビリティイヤーブック」が開始されて以来、当社は住宅建設分野において16年連続で「持続可能性に優れた企業」に選ばれており、最高位の旧ゴールドクラスに7回選定されました。今回、「持続可能性に優れた企業」に選ばれた日本企業は84社、そのうち当社を含む3社が上位1%に選定されました。

この他、当社は S&P グローバル社のスコアをもとに評価される世界的な ESG 投資株式指標「Dow Jones Sustainability World Index」、「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄にも選定されています。

住友林業グループは脱炭素社会の実現に向けて SDGs の目標年でもある2030年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定しました。中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」(2022～2024年)では「事業とESGの更なる一体化」を基本方針の一つに掲げ、サステナビリティ戦略及び重要課題を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編2024」を定めています。特定した重要課題に取り組み、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動に価値を提供することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



《リリースに関するお問い合わせ》

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 河村 小山田
TEL:03-3214-2270